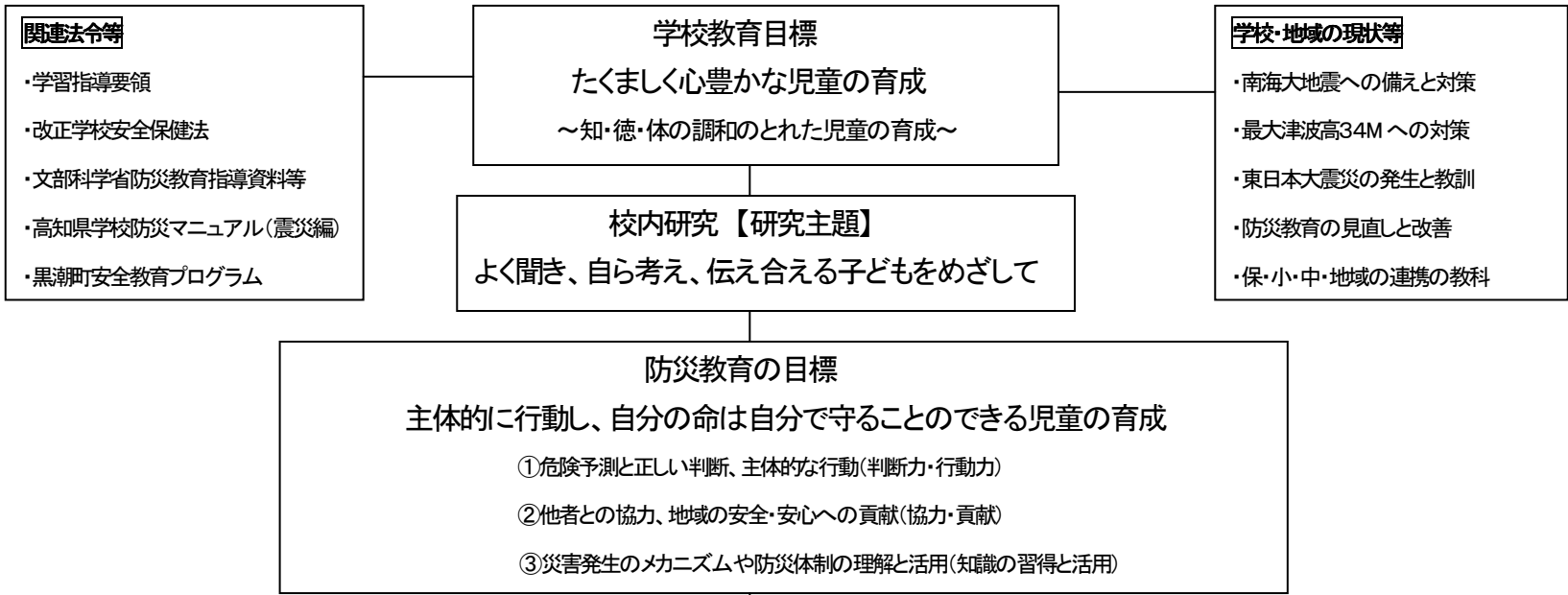


平成25年度 防災教育全体計画

黒潮町立佐賀小学校



推進の視点		
【A】防災リテラシー ・災害発生時の身を守る方法 ・災害発生時に自分で考え、適切に判断・行動できる実践力 ・災害を乗り越えるために他者と助け合う共生力(生活・社会・保健・特活・総合・行事)	【B】人間としての生き方 ・命を尊重する心の育成 ・自然を愛し、自然環境を大切にす心の育成 ・他者を思いやる心の育成 ・ボランティア活動に積極的に参加しようとする心の育成(生活・国語・社会・保健・道徳・特活・総合)	【C】科学的理解 ・自然災害の種類と発生のメカニズムについての理解 ・地域の災害の歴史と対策についての理解 ・今後の防災体制の確認(生活・社会・理科・総合・行事)

学年別 防災教育重点目標		
低学年	中学年	高学年
・災害が発生したときに、災害に応じて、自ら適切な行動ができる。	・災害のときに起こる様々な危険について知り、自ら適切な行動ができる。	・災害が発生したときに、自ら適切な行動ができるとともに、他の人々の安全にも気配りができる。

防災教育に関わる指導内容			
	低学年	中学年	高学年
教科	・大事なことを落とさないように聞く能力、順序を考えながら話す能力を育てる。(国語科) ・自分たちの生活は、学校や地域など、多くの人々や様々な場所とかがわっていることがわかる。(生活科) ・基本的な動きを身につけ、体力を養うとともに、秩序正しく安全に行動することができる。(体育科)	・相手や目的に応じ、工夫しながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。(国語) ・地域社会の安全を守るための関係機関や、そこに従事している人々の努力について考えることができる。(社会) ・健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。(体育科) ・きまりを守り、みんなと協力し、安全に行動することができる。(体育科)	・目的や意図に応じて、適切に話したり聞いたりする。【国語科】 ・国土の様子や環境について理解し、環境の保全や自然災害の防止に対する関心を高める。【社会】 ・資料を積極的に考察・表現することができる。【算数】 ・気象現象や流水についての見方や考え方をもちつことできる。また、土地のつくりと変化を火山活動や地と関連付けてとらえることができる。【理科】 ・日常生活に必要な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。【家庭科】 ・普段から災害に備えて、自己の体力や運動能力を高めようとする態度を育てる。【体育】 ・心の健康やけが・病気の防止・予防について理解するとともに、普段から実践できるようにする。【体育(保健)】
道徳	・健康や安全に気がつけた生活をする。 ・生命を大切にす心を持つ。 ・家族の役に立つ喜びを知る。 ・自然に親しむ。	・生命のあるものを大切にす心をもつことができるようにする。 ・自分が人々に支えられていることを理解し、尊敬と感謝の気持ちを持つ。 ・自然に親しみ、自然のかけがえのないなさに気づく。	・生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 ・日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。 ・自然の偉大さを知り、自然環境を守ろうとする態度を養う。
総合		・ボランティア活動の意義を知り、自分たちができることを考え、実行できる態度を育てる。	・過去の地震について調べたり、まとめたりして防災意識を高める。 ・自己課題研究を通して、自己の生き方を考え、身近な人々のためにできることを実践しようとする態度を育てる。
学活	・望ましい友だち関係をつくり、健康で安全な生活態度を身につける。	・健康で安全な生活態度を身に付けることができるようにする。	・集団の一員として、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
学校行事等	・避難訓練において、災害に応じた行動ができるようになる。	・避難訓練において、災害に応じた避難方法を理解し、安全に行動できるようにする。	・避難訓練において、災害に応じた安全な避難行動ができるようになる。 ・周囲の人々の状況を判断しながら、安全かつ規律ある集団行動ができるようになる。

防災管理体制
○災害発生時の連絡体制・救急体制の見直しと整備 ○地域と連携した学校防災計画・避難所運営計画の見直し ○施設・設備の安全点検と防災への備え

防災に関する組織活動
○教職員の防災教育研修の充実 ○家庭・地域・関係機関との連携・協力体制の確認・整備 ○学校・地域の合同防災訓練の実施